



町のすがた

(8月1日現在)

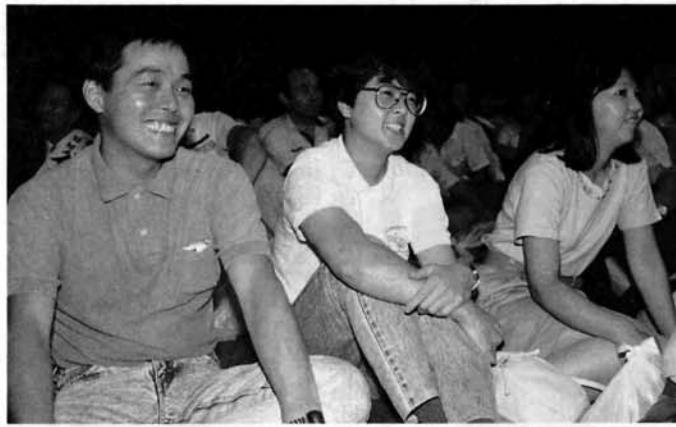
人口	男	3,311人	(+5)
	女	3,567人	(+7)
計		6,878人	(+12)
世帯数		1,718	(+3)

()は7月1日との比較

8

第281号

平成3年8月21日
発行 新潟県三島郡三島町役場
(0258) 42-2221
印刷 長岡市あかつき印刷



全日本丸太早切選手権大会（三島まつり協賛行事）で優勝した小学生ペア、西原卓也くんと稻垣祐也くん。

西原くんと稻垣くんは、大の仲良し。一緒にジェットマシンショーに来ていた友だちに「出てみたら」と言われ、丸太切りに挑戦しました。

ノコギリを使ったことは、家が材木店の西原くんが少しだけ、稻垣くんは全くなし。「優勝できたのは第一に運がよかったから。切り落としの場所を決めるジャンケンを全部勝った。それと交替のリズム。疲れたら早めに変わることだよ」と意気揚々。



白倉さん、結城さん、梶澤さんは成人式実行委員を努めました。

対象者82名中73名が参加、いつも比べ出席率が高かった今年の成人式。3人は成人式実行委員として、それぞれ謝辞、司会、記念品授与者の大任を果たしました。

「たくさん来てくれてよかったです。成人となって変わることは、あらゆる意味での環境。対人関係も変わってくるし、言葉使いなんかも、これからは注意しなくては……。今日きて来られた同級生とは、いつまでもつき合いを持ちたいものです」。



それにしても最近は、夕立に遭っても少しもあわてず、バックから折りたたみ式の傘を取り出す人が多くなりました。気象レーダーの発達で、予報が正確になつたからでしょうか。軽量傘の普及のせいでしょうか。

夕立は、夕立雲が通過すると、一時間かそこらであります。とにかく終わります。また走っているとき、夕立に遭遇すると、あつという間に夕立雲の下を通過して、びっくりすることもあります。ときには局地的に水害を引き起こすこともあります。

「わらび座」は秋田県田沢湖町に本部を持ち、今年創立40周年を迎える歴史ある劇団。同劇団が、その記念作品である「舞踊劇・みづ軽」を今秋より県下各地で公演するにあたり、そのうけ皿として結成されたのがわらび座をよぶ会で、商工会青年部員、町内外の若者など、現在二十五名の会員がいます。先日の町民体育祭では、PRを兼ねてソーラン節を披露したところです。（写真）

「わらび座をよぶ会」（代表 大滝伸一さん）では、来る十一月四日、町体育馆において、民俗歌舞団わらび座公演を開催します。

とは……

わらび座をよぶ会では公演当日に向けて準備を進めおり、現在ご協力くださる一般の方々を募集しています。毎週木曜日、午後八時より町商工會館にて定例会を行っていますので、サークル活動に参加するくら

いの軽い気持ちでは是非遊びに来てください。お待ちしています。

詳しい内容を知りたい方

は商工會事務局（42-2504）、又は大滝伸一さん宅（42-2634）までご連絡ください。

なお、後日各家庭に会員が、公演の前売り券の販売に伺いますので、よろしくお願いいたします。

に来てください、お待ち

ています。

詳しい内容を知りたい方

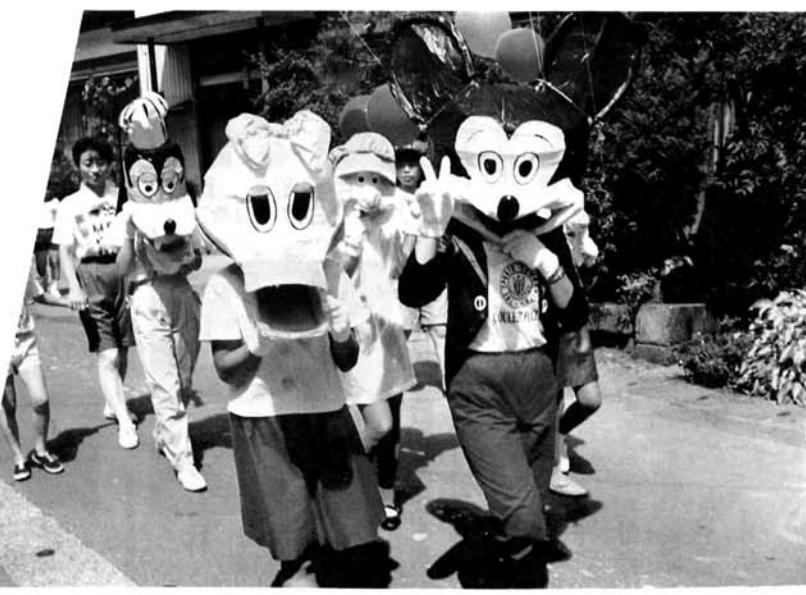
は商工會事務局（42-2504）、又は大滝伸一さん宅（42-2634）までご連絡ください。

なお、後日各家庭に会員が、公演の前売り券の販売に伺いますので、よろしくお願いいたします。

詳しい内容を知りたい方

は商工會事務局（42-2504）、又は大滝伸一さん宅（42-2634）までご連絡ください。

なお、後日各家庭に会員が、公演の前



十四日前六時、バンバンバーンと「躍進三島」の号砲が鳴りひびき、三島まつりの幕開けとなりました。自由参加の「三島音頭盆踊り」は、総勢三百名もの踊り手が集まり、まつり広場にいく重もの輪ができました。

一方、夏まつりの風物詩とも言える大花火は、大観衆の見守る中、一九五発の花火が打ち上げられ、夜空を華麗に彩りました。続く二日目の十五日には遠藤美先生を迎えての「歌謡ショウ」。

元祖「三島音頭」、有線放送で人気上昇中の「三島慕情」が聞けるとあって町民、帰省客、町外からの見物客と数えきれない人が押し寄せ、会場となった体育館はパニック状態。ナマ演奏とプロ歌手による公演は、多くの聴衆を魅了しました。

(4)

十四日前六時、バンバンバーンと「躍進三島」の号砲が鳴りひびき、三島まつりの幕開けとなりました。自由参加の「三島音頭盆踊り」は、総勢三百名もの踊り手が集まり、まつり広場にいく重もの輪ができました。

一方、夏まつりの風物詩とも言える大花火は、大観衆の見守る中、一九五発の花火が打ち上げられ、夜空を華麗に彩りました。続く二日目の十五日には遠藤美先生を迎えての「歌謡ショウ」。

元祖「三島音頭」、有線放送で人気上昇中の「三島慕情」が聞けるとあって町民、帰省客、町外からの見物客と数えきれない人が押し寄せ、会場となった体育館はパニック状態。ナマ演奏とプロ歌手による公演は、多くの聴衆を魅了しました。

大きくはばたけ



去年の夏、私は就職活動の真っ最中。私は東京に残るか、それとも新潟に帰るか大迷ってました。まずは東京で三回の面接試験を経て、一社採用通知をいただきました。自分でも頑張ったと思つただけに新潟に帰つてくることに大迷いましたが、結局新潟でも活動をし、様々な条件を考慮したうえで長岡に就職することに決めました。

貴重な体験 私の就職活動

西祐子さん

成人式を迎える私のこれから的人生で心掛けたいと思っていることが、二点あります。

まず一つ目は、より沢山の知り合いを持ち、人間としての幅を広げることです。違った知識、思考、生活態度を持つた人、自分の未知なる可能性を刺激してくれる人、あるいは自分の人生の手本としたい人、こうした相手が自分を鍛えてくれると思います。こ

これから的人生で
心掛けたいこと

奥田典子さん

うしたことから、人との付き合いを大事にしたいと思っています。

なく、意欲を持ち続けたいということです。人間はすぐに安心する怠け者です。私もその一人です。より自分の人格

を磨くが最も効果的で、社会貢献することなしに前進を掛けたいです。一層豊かな教養を身に付け、社会の一員として、より良い社会への協力者として生きたいと思っています。

として生きたいと思っています。

な体験

西 姑子

若い時はやはり刺激や情報の多い東

広がっていく気がするからでしょう。

ました。東京に居ようが新潟に居よう

が、自分の世界を広げていくことは、同じということです。常に前向きに好奇心と向上心を持ち、自分らしく生きることができたらそれは可能であり、そのときは三つとも叶うのです。

輝く未来へ



式の中で河内町長は「ふるさとを愛し、高い理想と新鮮な感覚を持ち、社会に貢献する人になつてください」と激励。続いて記念品の贈呈、誓いの言葉などが行われ

た。対象者は昭和四十五年四月二日から昭和四十六年五月一日までに生まれた方。ふるさとで成人式を——の帰省組を含め、八十二人が対象。背広やワンピースといった正装や夏らしい軽装など、思い思いの服装をした新成人は、久しぶりに会った友人と楽しそうに話を弾ませていて

「おめでとうといわれるのは、それ相応の期待をされていることであり、期待に沿えるよう努力してください」何度もこのように言われたことがあります、今までこの意味について考えたことはありませんでした。

しかし、今日皆さんから「成人おめでとう」言われ、選挙権など、わたしたちにも社会的立場が与えられました。今まででは社会の保護が与えられていました。

成人としての自分の決意

片野尚志さん

したが、これからは相手の立場を考え、それを考慮したうえで物事を行っていき、また的確な判断をしなければならないと思っています。自分の人生を左右する大きな問題から、普段の生活の中のほんのささいな事まで、その対応をきちんと出来るようになりたいと思つています。自分の意見をきちんと持ち、他人への配慮への配慮を忘れない人間として生きていきたいと思ひます。

